

## 平成19年度第1回中仙地域協議会 会議録

### 1 開会の日時及び場所

- ・日時 平成19年6月5日(火) 午後3時～午後5時14分
- ・場所 中仙農村環境改善センター 2階 農事研修室

### 2 出席した委員等の氏名

- ・出席委員 木元洋子委員 古村貞夫委員 佐々木郁彦委員 佐藤昭男委員  
高貝昇太郎委員 高橋 修委員 高橋國文委員 高橋尊雄委員  
高橋辰美委員 傳農富士夫委員 長谷山祥子委員 藤澤英夫委員  
藤田貞子委員  
以上13名  
(欠席 秋山 康委員 佐藤育男委員 鈴木恭子委員 高橋亮光委員  
平瀬一浩委員)
- ・市職員(中仙地域…教育委員会中仙分室を含む)  
中仙総合支所長 後藤善良 地域振興課長 鈴木雅幸  
地域振興課参事 佐々木孝雄 地域振興課主幹 田口祥吾  
市民課長 田口元彦 市民課副参事 湯野澤俊作  
農林振興課長 佐藤昭光 農林振興課参事 高橋松男  
農林振興課参事 細井盛一 建設課長 傳農順一  
建設課副参事 齋藤雄幸 教育委員会中仙分室長 大信田英夫  
教育委員会中仙分室参事 秋山功  
八乙女荘事務長 三浦哲夫 桜寿苑施設長 北田正雄  
以上15名
- ・市職員(教育委員会)  
教育長 三浦憲一 教育次長 今井 聰  
教育総務課長 服部國康 学校教育課長 藤原保子  
教育総務課主幹 阿部利美 学校教育課主幹 伊藤雅己  
以上6名

### 3 次第

#### 【開会】

会長が開会を宣言

#### 【会議の成立】

事務局から出席委員13名、欠席委員5名で2分の1以上の出席があり協議会の成立する事を報告。

## 【会長あいさつ】

- ・今日は公私共にご多忙中のところ協議会にご出席いただきましてありがとうございます。春作業も一段落し、連日好天気続きでこれが続けば心配なこともありますので一雨欲しい状況下にあると思います。今日は第1回の会議ですが、大きな課題として皆さんにご案内を差し上げております新しい時代の学校教育事業の関係があります。今日は遠いところ教育長さんを始め教育委員会職員の方々、総合支所関係からは、後藤支所長始め幹部の方々の出席を戴きありがとうございます。今子育てと教育充実に関する問題が色々あるわけですが、直接には関係ないにしてもこれからの教育問題は大きな違いが出てくるのじゃないかと思います。今日の協議の中で、少しでも我々が役立つのであればと思っておりますので、ご協議の方をよろしく願います。また、地域枠予算についてもご協議いただくことになっておりますのでよろしく願います。簡単でありますが開会に当たりご挨拶とさせていただきます。

## 【議事】

### (1) 会議録署名委員の指名

会長が高橋修委員、高橋尊雄委員の2名を指名。異議なしと認め了承する。

### (2) 新しい時代の学校教育だいせんビジョンについて説明

- ・傳農会長…議題(2) 新しい時代の学校教育だいせんビジョンについての説明を教育委員会から願います。
- ・教育長…大仙市教育長の三浦と申します。本日は貴重な時間を戴きまして感謝申し上げます。今色々な諸改革が実施されているわけですが、教育の動きも大きな動きが出ています。かたや子供たちに関する問題も全国的には発生しているわけです。戦後60年を振り返ったとき、余りに時代も変わりましたし、環境も変わりました。社会の仕組みも全部変わりました。こういう中で、子供たちが将来にわたってどのように育っていったら、日本を背負う、地域を背負う子供たちになっていただけるかというようなことで、私たちは子供の将来を見据えまして、改めて吟味させていただきました。これからその説明になるわけですが、その最大の問題は少子化です。その減少率の激しさということ、もう一点は財政難の問題です。そういうことを含めまして、この後たくましい子供たちを育成していくためには、という視点を私たちは検討させていただきました。昨年は15名の将来構想検討委員会という方々からご提言を戴きました。その提言を受けましてこのような冊子を作り皆様にお渡ししたような次第です。その中には子供たちの姿をどうしていくか、そうした場合学校教育はどうあるべきか、或いは将来的には非常に人数が少なくなって、千人ぐらいずつどんどん減っていく訳でありまして14、5年後には中仙小学校くらいの規模が5校ぐらい減っていくというのが目に見えています。この中で子供たちをどう育てていくか、という課題を私たちは持ち合わせておまして、そういう中でこれから説明をしていただきますので、お気づきの点をどんどんご指摘いただいたり、ご提言いただいたりすることによりまして、この後進め方を考えていきたいと思っております。各地域でこの後説明会をやらせていただきますが、色々な地域で同時に動かれますと、私たちも予算の関係とかありまして、早く教えていただいた所から色々な形でおろしていきたいと思っております。

せっかくの機会ですので、お気づきの点がありましたらご指摘などよろしくお願ひします。

- ・教育総務課長…説明に入ります前に今日出席している職員の紹介をさせていただきます。改めまして、教育長の三浦憲一です。教育次長の今井聰です。学校教育課長の藤原保子です。学校教育課主幹の伊藤雅己です。教育総務課主幹の阿部利美です。私は教育総務課長の服部國康です。どうかよろしくお願ひします。それでは伊藤の方から説明させていただきます。(伊藤主幹、プロジェクターを使い、「新しい時代の学校教育だいせんビジョン」をスクリーンに映し説明)
- ・教育総務課長…こちらからの説明は以上であります。続きまして内容に対するご質問ご意見等ございましたらご忌憚のないご発言を願ひします。
- ・高橋國文委員…不登校の状況で中学校の16年度が増えているようですが、原因や対策をどうされたか差し支えなかったら教えていただきたいと思ひます。
- ・伊藤主幹…旧市町村時代の数字を合わせたものなので、詳しい事情については把握していませんが、現在についてはスクールカウンセラー、心の教育相談員を配置してカウンセリング事業を行うなど対策を講じております。
- ・高橋尊雄委員適正規模の学校になるため統合が必要だと聞きましたが、この統合は将来的に中仙地域だけでなく他地域まで視野に入れたもののでしょうか。
- ・教育長…長期になれば考えられますが、地域の学校として考えています。それでもダメな場合はそうなると思ひます。
- ・高貝昇太郎委員…統合は進むと思ひますが、金がない時期に学校建築は大変だと思ひますので、まず分校スタイルでやって、そして財政事情が良くなったときに箱物を建てるのでしょうか。
- ・教育長…おっしゃるとおり、財政は厳しいと言われております。それではどのように進めていくかと言えば、まず新しい方の学校に古い学校の子供たちを入れて、次に箱物の整備を進めて行くのが第1ラウンドで、それでも人数が足りないとすれば、小と中の学校を近くに建てて、一貫的な教育をやっていくとか新しい発想が必要と思ひます。
- ・佐々木郁彦委員…教員の採用については、足りない部門、余っている部門等を考慮したバランスあるものにしなければならないと思ひます。いくら健康でたくましい子供を育てるといっても、先生が何も知らなかったり、出来なかったりすると子供たちが違った方向に向かうことも考えられますので、たぶん計算はしていると思ひますがこのことは非常に大切なことだと考えます。
- ・教育長…退職者に対応して採用していくのが普通のパターンですので、多い少ないは県の方でバランスをとっているものと思ひます。
- ・藤澤英夫委員…学校の自由化についてお話がありませんでしたが、自由化することで今までどんなことがあったか、こういうものを玩味して数字を出していったほうが良いと思ひますがいかがでしょうか。
- ・教育長…今のは再生会議という国の方のことで、私たちからすれば都会の話のことをいっているようで、都会では公立学校より私立学校の方が多く、私立の方がメインになってきておりそこに入れないう子供が公立に入ってくるという状況になっています。

従って公立学校の方が成績が悪いとか、何処がだめだとか指摘をされるわけです。そこで公立学校に刺激を与えるため、学校選択を取り入れなさいということで品川区とかでやったわけです。そのメリットは確かにあるわけです。競争しなければならないし、自分の学校に入学するようアピールもしなければ生徒が入ってきません。ところがデメリットも出てきています。全然入ってこない学校、やたらとふくれる学校、学校を建て直ししなければならないとか、こういうのが何の基準で選ばれていくのかというと、風評で行く場合があります。このことから学校データを示しながら特色を説明していく必要がありますが、ただ過激に学校選択をやりますと、地域に学校がなくなるという可能性も生じるということがあります。学校は地域の方々と一緒にやりあっていくから学校であって、それが全く別の区域から来るような学校では、どうして安全を守るのかなど問題もありますので、良しとは考えていない状況です。

- ・長谷山祥子委員…中仙地域の中でも、豊成に入りたいが中仙に入っているとかそういう人がいた場合希望する学校に行けるのでしょうか。また、このような人はどの位いるのでしょうか。
- ・教育長…かつては許しませんでした。学区というものがあり、そこに入るということを守っておりましたが、最近の子供の希望、保護者の希望を生かす、という一面がかなり導入されてきております。これははじめの問題からで、こういうものが発生してからその学校に縛っておいても解決できない場合もあり、転校してから解決したという例も沢山ありますので、そういう意味で子供サイドに立って認めた方がいいのではないかというのが今の現状でありまして、保護者と子供がそうしたいというのであれば変えるというふうに変わってきております。本県の場合は大量にいるということではなく、多い学校で2、3人というのはあり得ると思います。
- ・高橋尊雄委員…スポーツでも先のことを考え、地域の学校より大きい学校に行っている人もいるようですが、好きなスポーツで頑張っているのを見るとそれも一つの選択だと思います。
- ・教育次長…部活の場合どうしても団体でなければならないというのがあり、例えば剣道なんか1人でやりたいといってもなかなかできないため、剣道部のある学校に行くとか、水泳が本当に好きで水泳部のある学校に行きたいとか、そういう風な形で学校を選んでいる子はいます。そういうことについては教育委員会では許可しています。
- ・長谷山祥子委員…そういう人はどの位いますか。
- ・教育次長…10本の指に余るくらいはいません。
- ・木元洋子委員…去年中仙小学校を訪問したとき、40人学級ということでやっていました。国の方針ということですが息苦しいような感じがしました。空き教室もありますので、特例とかないのでしょうか。
- ・学校教育課長…2年生までは33人に1名の職員で対応することはできますが、後は学習を2つに別けたりして、その学校の職員に合わせた取り組みをすることはできます。
- ・藤田貞子委員…学校側の地域と共に歩むとか、地域に開かれた学校ということでみんなの登校日を設けているようですが、その登校日に行く父兄や近所の方は大仙市の場合増えているのでしょうか。また各学校で特色のある取り組みをしているのでしょうか。

か。

- ・学校教育課長…確実に増えています。今では他校の校舎まで行く人もいます。特色については色々ありますし、問い合わせてくださいれば紹介したいと思います。
- ・傳農会長…他にございませんか。(声無し) 無いようですので新しい時代の学校教育だいせんビジョンについての説明を終わります。中仙地域協議会としても今後情報を提供したいと思いますので特段のご配慮をお願いします。教育委員会の皆さんはこれで退席されますのでよろしくをお願いします。ここで午後4時20分まで休憩とします。(休憩時間午後4時15分から午後4時20分まで)
- ・傳農会長…それでは会議を再開します。議題(3)平成19年度中仙地域自治区関係主要事業について議題としますが、初めに後藤支所長からご挨拶と職員の紹介をしていただき、その後関係課長から説明をお願いします。
- ・後藤支所長…平成19年度の第1回中仙地域協議会の開催に当たりましては、委員の皆様には大変お忙しいなかご出席いただきましてありがとうございます。6月に入り田植えも終わり一段落したこのごろであります。先ほどは教育委員会より、未来の子供たちのために作成された、新しい時代の学校教育だいせんビジョンについて説明がありましたが、18年度は総合計画を始め地域防災計画等が作成されております。5月初めですけれども予算特別号が発行されております。これもわかりやすくまとめられた内容となっておりますし、市の将来都市像である“人を愛し人が集う夢のある田園交流都市の創造”を図るための予算であります。生活の向上を目的に、限られた財源で住民要望を的確に把握し実行できるよう配慮し、これまでの前例踏襲の考えを改めまして全ての事業の見直しを行っております。コストの削減や事業のスクラップアンドビルドを行いながら19年度の予算をまとめております。予算の内容については時間がないので省略させていただきますが、中仙地域に新規事業が入っておりますので、その点を若干説明させていただきたいと思います。教育の円滑な推進を確保するための小学校施設冷房化工事、旧鍵見内分館・旧鍵見内保育所及び運動場の解体工事の実施や秋田わか杉国体関連文化財公開事業のうち中仙地域では国宝であります線刻千手観音等鏡像を水神社において国体期間中日を決めて公開することとしております。秋田わか杉国体大仙市開催競技関連事業は競技開催に向けた経費の部分が計上されております。また、地域に属する農地、農業用施設の維持や農村環境の良好な保全と向上を図るための農地・水・環境保全向上対策事業費、高速インターネットのサービス未提供地区へのブロードバンド化の促進と豊川・豊岡地区の情報格差是正におけるADSLサービス機器整備のため57局局舎の改修経費も計上されております。秋田わか杉国体が9月29日から11日間に渡り開催予定であり、当地域では八乙女球場におきまして成年の軟式野球が9月30日から10月3日まで開催される予定です。また、八乙女青年の家の改修工事は、予定より早く完成見込みとなっており、国体時には選手、役員48人の宿泊予定となっております。それから、長刀、ハンドボール、自転車競技、軟式野球の4競技が約1,900人ほどの選手役員が参加し7会場に分かれまして、中高生や市民ボランティア等延べ3,000人の協力を得まして、実施する計画であります。これに先立ちましてデモンストラーションスポーツとしてグラウンドゴルフ、フライングディスク大会が県内から約1,000人の

選手役員を集め9月2日に開催されます。また、8月15日には払田の柵跡で採火式が、9月19、20日には大会旗・炬火リレーが市内12の中学校生徒によって全市内を巡るコースで実施されます。大会は簡素で協力的な運営に心がけ多くの小中高生や市民ボランティアの参加のもと市民との協働による真心のこもった大会になるよう審議を続けてまいります。今年度に入りまして特に強化されている事業につきましては、法人化推進計画がありますが、これは老人保健施設、特養施設、保育所、幼稚園の法人化を進めるもので、平成20年から24年までの計画としております。それから第三セクター、直営温泉の指定管理者への移行、これは9施設ございますのを19年度に実施する予定であります。今年度大仙市収納対策推進本部が設置されましたが、これは17年度の決算に伴いまして税関係が11億9千万円、使用料等を併せますと13億4千万円の未納額があり、これに対する収納の向上を図るための施策として設置されたものです。また、病院負担事業の継続、事務の効率化や職員の資質向上を目的としました業務関係もございまして。この後関係課長から主要事業の説明がございまして一つ一つよろしくお願ひいたします。今年度もどうかよろしくお願ひいたします。次に職員を紹介させていただきます。地域振興課長の鈴木です。同じく参事の佐々木です。市民課長の田口です。同じく副参事の湯野沢です。農林振興課長の佐藤です。同じく参事の高橋です。同じく参事の細井です。建設課長の傳農です。同じく副参事の齋藤です。教育委員会中仙分室長の信田です。同じく参事の秋山です。八乙女荘事務長の三浦です。桜寿苑施設長の北田です。ということでよろしくお願ひいたします。

- ・傳農会長…後藤支所長からも主要事業の説明がありましたが、各課長からもおねがひいたします。
- ・地域振興課長…公有林整備事業、地域交通運行事業（乗合自動車利用助成金）、地域枠予算事業、出前講座、高速インターネットアクセス網整備促進事業について説明。
- ・市民課長…市単独助成事業のほり・灸・マッサージ施術助成事業、温泉ふれあい入浴サービス事業、高齢者等除雪サービス事業と地域支援事業の介護予防事業、包括的支援事業、任意事業について説明。また、住民税について18年度までは3段階の課税であったのが、19年度からは一律10%となり定率減税が無くなったことなども説明。
- ・農林振興課長…地域づくり交付金、農業夢プラン応援事業、無人ヘリコプター保有団体育成事業費補助金、農業指導体制、ジャンボうさぎフェスティバルの開催、農地・水・環境保全向上対策事業、県営担い手育成基盤整備事業、森林病虫害等防除対策費について説明。
- ・建設課長…交付金事業、まちづくり交付金事業、公共下水道事業、簡易水道事業、農業集落排水事業について説明。
- ・教育委員会中仙分室長…小学校施設冷房化事業、公民館旧鍵見内分館解体工事、旧八乙女青年の家大規模改修事業、ドンパル自主事業について説明
- ・八乙女荘事務長…施設の現状について説明。
- ・桜寿苑施設長…施設の現状について説明。
- ・傳農会長…説明が終わりましたので質問等を賜ります。

- ・古村貞夫委員…農地・水・環境保全向上対策事業の補助金はどのくらいですか。
- ・農林振興課長…1反歩 4,400 円で国が半分、県と市が4分の1ずつ負担する補助金で1億2千万円くらいになります。
- ・傳農会長…他にありませんか。(声無し) 無いようなので次の(4)地域枠予算事業についてを議題とします。これについて説明願います。
- ・地域振興課長…地域枠予算事業でございますが、今回3件ございますのでまとめてご説明させていただきます。実施類型Ⅰ1. 中仙地域公共施設等除去枝処分事業ですが、これは市が事業主体でございます。現在、中仙地域公共施設から出た除去枝を東長野工業団地西側に一時堆積しておりますが、このままですと不法投棄の場所にもなりかねないので、速急に産業廃棄物として処分するというものです。経費は処理料がトン当たり 14,000 円、積み込み重機使用料1日 16,000 円、同運搬費を 20,000 円と見ております。実施類型Ⅱ1. 市道中仙 25 号線上危険枝除去事業ですが、これは上黒土北部落と市の協働事業でございます。市道中仙 25 号線と上黒土金鏡 1 号線の交差点北側にある立木の枝が市道 25 号線上に伸びており、これが強風や積雪で折れ道路上に落下する危険性がありますので、被害者でないうちにこれを除去し通行の安全を図るというものです。枝切り作業員、ユニックの経費を市が負担し、上黒土北部落の住民が切り落とした枝の処理に当たります。予算は 50,000 円を見ております。次に実施類型Ⅲ1. キッズ安全見守り活動ですが、これは豊岡小学校 P T A が昨年引き続き行う児童安全見守り活動において、車用マグネットシート、パトロール用ブルゾンが足りないということで、これを購入したいというものです。予算は収入 144,795 円でこれは市の補助金です。支出も同額でマグネットシート 109,620 円、パトロール用ブルゾン 35,175 円となっております。以上よろしくご審議願います。
- ・傳農会長…説明が終わりましたのでご質問、ご意見を賜ります。初めに中仙地域公共施設等除去枝処分事業についてございませんか。
- ・高橋尊雄委員…これは建設課で予算を組んでやるべきだと思いますがいかがですか。
- ・地域振興課長…桜の枝の他にごみも見えるようになり、このまま放置すれば不法投棄が進む恐れがあり、緊急に処分する必要があるため地域枠事業としたものです。
- ・傳農会長…他にありませんか。(無しの声あり) それでは中仙地域公共施設等除去枝処分事業を承認することといたします。次に市道中仙 25 号線上危険枝除去事業についてはいかがですか。(声無し) それでは承認することとしてよろしいでしょうか。(異議無しの声あり) それでは市道中仙 25 号線上危険枝除去事業を承認することといたします。次にキッズ安全見守り活動についてはいかがですか。(声無し) それでは承認することとしてよろしいでしょうか。(異議無しの声あり) それではキッズ安全見守り活動を承認することといたします。それでは次に(5)その他に入りますが何かございますか。(声無し) 無いようですので、これをもちまして本日の議題の審議は全部終了いたしました。

## 【閉会】

会長が閉会を宣言

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成19年6月 日

会議録署名委員

議長

委員

委員